

様式3-9 (ばらつき評価項目整理表)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
1	2	3	2	1	掘削工	基準高▽ 法長l	対象 対象
1	2	3	2	2	掘削工(面管理)	平場 法面 法面(軟岩I)	対象 対象 対象
1	2	3	2	3	掘削工(水中部/面管理)	平場 法面	対象 対象
1	2	3	3	1	盛土工	基準高▽ 法長l 幅w1,w2	対象 対象 対象
1	2	3	3	2	盛土工(面管理)	天端 法面	対象 対象
1	2	3	4		盛土補強工	基準高▽ 厚さt 控え長さ	対象 対象 -
1	2	3	5		法面整形工(盛土部)	厚さt	-
1	2	3	6		堤防天端工	厚さt 幅w	- -
1	2	4	2	1	掘削工	基準高▽ 法長l 幅w	対象 対象 対象
1	2	4	2	2	掘削工(面管理)	天端 法面 法面(軟岩I)	対象 対象 対象
1	2	4	3	1	路体盛土工	基準高▽ 法長l 幅w1,w2	対象 対象 対象
1	2	4	4	1	路床盛土工	基準高▽ 法長l 幅w1,w2	対象 対象 対象
1	2	4	3	2	路体盛土工(面管理)	天端	対象
1	2	4	4	2	路床盛土工(面管理)	天端	対象
1	2	4	5		法面整形工(盛土部)	厚さt	-
1	3	7	4		組立て	平均間隔D かぶりt	対象 対象
3	2	3			道路改良/護岸工/流路工	幅w1,w2,w3	対象
3	2	3	4		矢板工	基準高▽ 根入長 変位l	対象 - 対象
3	2	3	5		縁石工(縁石/アスカブ)	延長L	-
3	2	3	6		小型標識工	設置高さh 基礎幅w(D) 基礎高さh 基礎根入長	- 対象 対象 -
3	2	3	7		防止柵工	基礎幅w 基礎高さh パイプ取付高h	対象 対象 対象
3	2	3	8	1	路側防護柵工(ガードレール)	基礎幅w 基礎高さh ビーム取付高h	対象 対象 対象
3	2	3	8	2	路側防護柵工(ガードケーブル)	基礎幅w 基礎高さh 基礎延長L ケーブル取付高h	対象 対象 - 対象
3	2	3	9		区画線工	厚さ(溶融式のみ) 幅w	- -
3	2	3	10		道路付属物工(視線誘導標/距離標)	高さh	対象
3	2	3	11		コンクリート面塗装工	塗料使用量	-
3	2	3	12	1	プレテンション桁製作工(購入工/けた橋)	桁長L(m) 断面の外形寸法 橋桁のそりδ1 横方向の曲がりδ2	対象 対象 対象 対象
3	2	3	12	2	プレテンション桁製作工(購入工/スラブ桁)	桁長L(m) 断面の外形寸法 橋桁のそりδ1 横方向の曲がりδ2	対象 対象 対象 対象
3	2	3	13		ポストテンション桁製作工	幅(上)w1 幅(下)w2 高さh 桁長/支間長 横方向最大タワミ	対象 対象 対象 対象 対象
3	2	3	14	1	プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	桁長l 断面の外形寸法(mm)	- -
3	2	3	14	2	プレキャストセグメント主桁組立工	桁長/支間長 横方向最大タワミ	対象 対象
3	2	3	15		PCホロースラブ製作工	基準高▽ 幅w1,w2 厚さt 桁長l	対象 対象 対象 対象
3	2	3	16	1	PC箱桁製作工	基準高▽ 幅(上)w1 幅(下)w2 内空幅w3 高さh1 内空高さh2	対象 対象 対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
3	2	3	16	2	PC押し出し箱桁製作工	桁長l	対象
						幅(上)w1	対象
						幅(下)w2	対象
						内空幅w3	対象
						高さh1	対象
						内空高さh2	対象
3	2	3	17		根固めブロック工	層積 基準高▽	対象
						層積 厚さt	—
						層積 幅w1,w2	—
						層積 延長L1,L2	—
						乱積 基準高▽	対象
						乱積 延長L1,L2	—
3	2	3	18		沈床工	基準高▽	対象
						幅w	対象
						延長L	—
3	2	3	19		捨石工	基準高▽	対象
						幅w	—
						延長L	—
3	2	3	22		階段工	幅w	対象
						高さh	対象
						長さL	対象
						段数	対象
						段数	対象
3	2	3	24	1	伸縮装置工(ゴムジョイント)	据付け高さ	対象
						表面の凹凸	対象
						仕上げ高さ	対象
						仕上げ高さ	対象
3	2	3	24	2	伸縮装置工(鋼製フィンガージョイント)	高さ	対象
						表面の凹凸	対象
						歯型板面の歯咬み合い部の高低差	対象
						歯咬み合い部の縦方向間隔w1	対象
						歯咬み合い部の軸方向間隔w2	対象
						仕上げ高さ	対象
3	2	3	24	3	伸縮装置工(埋設型ジョイント)	表面の凹凸	対象
						仕上げ高さ	対象
3	2	3	26	1	多自然型護岸工(巨石張り、巨石積み)	基準高▽	対象
						法長l	対象
						延長L	—
3	2	3	26	2	多自然型護岸工(かごマット)	法長l	対象
						厚さt	—
						延長L	—
3	2	3	27	1	羽口工(じゃかご)	法長l	対象
						厚さt	—
3	2	3	27	2	羽口工(ふとんかご、かご枠)	高さh	—
						延長L1,L2	—
3	2	3	28		プレキャストカルバート工	基準高▽	対象
						幅w	—
						高さh	—
						延長L	—
						延長L	—
3	2	3	29	1	側溝工(プレキャスト側溝)	基準高▽	対象
						延長L	—
3	2	3	29	2	側溝工(場所打水路工)	基準高▽	対象
						厚さt1,t2	対象
						幅w	対象
						高さh1,h2	対象
						延長L	—
						延長L	—
3	2	3	29	3	側溝工(暗渠工)	基準高▽	対象
						幅w1,w2	—
						深さh	—
						延長L	—
						延長L	—
3	2	3	30		集水樹工	基準高▽	対象
						厚さt1~t5	—
						幅w1,w2	対象
						高さh1,h2	対象
3	2	3	31		現場塗装工	塗膜厚	—
3	2	4	1		切込砂利/碎石基礎工/割ぐり石基礎工/均しコンクリート	幅w	—
						厚さt1,t2	—
						延長L	—
3	2	4	3	1	基礎工(護岸/現場打)	基準高▽	対象
						幅w	対象
						高さh	対象
						延長L	—
3	2	4	3	2	基礎工(護岸/プレキャスト)	基準高▽	対象
						延長L	—
3	2	4	4	1	既製杭工	基準高▽	対象
						根入長	—
						偏心量D	対象
						傾斜	対象
						傾斜	対象
3	2	4	4	2	既製杭工(鋼管ソイルセメント杭)	基準高▽	対象
						根入長	—
						偏心量D	対象
						傾斜	対象
						傾斜	対象
3	2	4	5		場所打杭工	基準高▽	対象
						根入長	—
						偏心量D	対象
						傾斜	対象
						傾斜	対象

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
3	2	4	6		深礎工	基準高▽ 根入長 偏心率D 傾斜 基礎径D	対象 — 対象 対象 対象
3	2	4	7		オープンケーソン基礎工	基準高▽ ケーソンの長さl ケーソンの幅w ケーソンの高さh ケーソンの壁厚t 偏心率D	対象 対象 対象 対象 対象 対象
3	2	4	8		ニューマチックケーソン基礎工	基準高▽ ケーソンの長さl ケーソンの幅w ケーソンの高さh ケーソンの壁厚t 偏心率D	対象 対象 対象 対象 対象 対象
3	2	4	9		鋼管矢板基礎工	基準高▽ 根入長 偏心率D	対象 — 対象
3	2	5	3	1	コンクリートブロック工	基準高▽ 法長l 厚さ(ブロック積・張)t1 厚さ(裏込)t2 延長L	対象 対象 対象 — —
3	2	5	3	2	コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	基準高▽ 法長l 延長L1,L2	対象 対象 —
3	2	5	3	3	コンクリートブロック工(天端保護ブロック)	基準高▽ 幅w 延長L	対象 — —
3	2	5	4		緑化ブロック工	基準高▽ 法長l 厚さ(ブロック)t1 厚さ(裏込)t2 延長L	対象 対象 対象 — —
3	2	5	5		石積(張)工	基準高▽ 法長l 厚さ(石積・張)t1 厚さ(裏込)t2 延長L	対象 対象 対象 — —
3	2	6	6	4	橋面防水工(シート系床版防水層)	シートのリ重幅	対象
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	7	2	アスファルト舗装工(下層路盤工/面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	4	アスファルト舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	5	アスファルト舗装工(上層路盤工/セメント安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	6	アスファルト舗装工(上層路盤工/セメント安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	7	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	8	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	9	アスファルト舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	10	アスファルト舗装工(基層工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	11	アスファルト舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 — 対象 対象
3	2	6	7	12	アスファルト舗装工(表層工/面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性	対象 対象
3	2	6	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工(下層路盤工/面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工(上層路盤工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	5	半たわみ性舗装工(上層路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	6	半たわみ性舗装工(上層路盤工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	7	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	8	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	9	半たわみ性舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	10	半たわみ性舗装工(基層工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	11	半たわみ性舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 — 対象 対象
3	2	6	8	12	半たわみ性舗装工(表層工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
3	2	6	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	平坦性 基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 対象 -
3	2	6	9	2	排水性舗装工(下層路盤工/面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	9	3	排水性舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	9	4	排水性舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	5	排水性舗装工(上層路盤工/セメント(石灰)安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	9	6	排水性舗装工(上層路盤工/セメント(石灰)安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	7	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	9	8	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	9	排水性舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	9	10	排水性舗装工(基層工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	11	排水性舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 対象 対象 対象
3	2	6	9	12	排水性舗装工(表層工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	10	1	透水性舗装工(路盤工)	平坦性 基準高▽ 厚さ	対象 対象 対象
3	2	6	10	2	透水性舗装工(路盤工/面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	10	3	透水性舗装工(表層工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 -
3	2	6	10	4	透水性舗装工(表層工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	11	1	グースアスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	11	2	グースアスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	11	3	グースアスファルト舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	11	4	グースアスファルト舗装工(基層工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	11	5	グースアスファルト舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 対象 対象 対象
3	2	6	11	6	グースアスファルト舗装工(表層工/面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性	対象 対象
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 -
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工(下層路盤工/面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	12	4	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工(セメント(石灰/瀝青)安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	12	6	コンクリート舗装工(セメント(石灰/瀝青)安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	7	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工(アスファルト中間層/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	厚さ 幅 平坦性 基準高▽	対象 対象 対象 対象
3	2	6	12	10	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工/面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性 目地段差	対象 対象 対象
3	2	6	12	11	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 -
3	2	6	12	12	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/下層路盤工/面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	12	13	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	12	14	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/粒度調整路盤工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	15	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/セメント(石灰/瀝青)安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	12	16	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/セメント(石灰/瀝青)安定処理工/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	17	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/アスファルト中間層)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	12	18	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/アスファルト中間層/面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	19	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	厚さ 幅 平坦性 基準高▽ 目地段差	対象 対象 対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
3	2	6	12	20	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性 目地段差	対象 対象 対象
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 対象
3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工/セメント(石灰)安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 -
3	2	6	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工/セメント(石灰)安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	14	4	ブロック舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	14	5	ブロック舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 -
3	2	6	15	1	路面切削工	厚さt 幅w	対象 -
3	2	6	15	2	路面切削工(面管理)	厚さ(標高較差) 幅w	対象 -
3	2	6	16		舗装打換え工	路盤工 幅w 路盤工 延長L 路盤工 厚さt 舗設工 幅w 舗設工 延長L 舗設工 厚さt	- - 対象 - - 対象
3	2	6	17	1	オーバーレイ工	厚さt 幅w 延長L 平坦性	対象 - - 対象
3	2	6	17	2	オーバーレイ工(面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性	対象 対象
3	2	7	2		路床安定処理工	基準高▽ 施工厚さt 幅w 延長L	対象 対象 対象 -
3	2	7	3		置換工	基準高▽ 置換厚さt 幅w 延長L	対象 対象 対象 -
3	2	7	4	1	表層安定処理工(サンドマット海上)	基準高▽ 法長l 天端幅w 天端延長L	対象 対象 対象 -
3	2	7	4	2	表層安定処理工(ICT施工)	基準高▽ 法長l 天端幅w 天端延長L	対象 対象 対象 -
3	2	7	5		パイルネット工	基準高▽ 厚さt 幅w 延長L	対象 対象 対象 -
3	2	7	6		サンドマット工	施工厚さt 幅w 延長L	対象 対象 -
3	2	7	7		パーティカルドレーン工/締固め改良工	位置・間隔w 杭径D 打込長さh 砂投入量	対象 - - -
3	2	7	9	1	固結工	基準高▽ 位置・間隔w 杭径D 深度L	- 対象 - -
3	2	7	9	2	固結工(スラリー攪拌工/3次元計測)	基準高▽ 位置 杭径D 改良長L	- 対象 - -
3	2	7	9	3	固結工(中層混合処理)	基準高▽ 施工厚さt 幅w 延長L	- - - -
3	2	10	5	1	土留/仮締切工(H鋼杭)(鋼矢板)	基準高▽ 根入長	対象 -
3	2	10	5	2	土留/仮締切工(アンカー工)	削孔深さ 配置誤差D	- 対象
3	2	10	5	3	土留/仮締切工(連節ブロック張り工)	法長l 延長L1,L2	対象 -
3	2	10	5	4	土留/仮締切工(締切盛土)	基準高▽	対象

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
						天端幅w	対象
						法長l	対象
3	2	10	5	5	土留/仮締切工(中詰盛土)	基準高▽	対象
3	2	10	9		地中連続壁工(壁式)	基準高▽	対象
						連壁の長さl	—
						変位	対象
						壁体長L	—
3	2	10	10		地中連続壁工(柱列式)	基準高▽	対象
						連壁の長さl	—
						変位D	対象
						壁体長L	—
3	2	12	1	1	鑄造費(金属支承工)	接合用ボルト孔の直径差	対象
						接合用ボルト孔の中心距離	対象
						アンカーバー用孔の直径差	対象
						アンカーバー用孔の中心距離	対象
						センターボスの直径	対象
						センターボスの高さ	対象
						ボスの直径	対象
						ボスの高さ	対象
						上巻の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法	対象
						全移動l	対象
						組立高さh	対象
						普通寸法	対象
3	2	12	1	2	鑄造費(大型ゴム支承工)	幅w, 長さL, 直径D	対象
						厚さt	対象
						相対誤差	対象
3	2	12	1	3	仮設材製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	1	4	刃口金物製作工	刃口高さh(m)	対象
						外周長L(m)	対象
3	2	12	3	1	桁製作工(仮組立による検査を実施する場合)	フランジ幅w(m)腹板高h(m)腹番間隔' (m)	対象
						板の平面度 δ (mm)	対象
						フランジの直角度 δ (mm)	対象
						部材長l(m)	対象
						圧縮材の曲がり δ (mm)	対象
						全長L(m)	対象
						支間長Ln(m)	対象
						主桁、主構の中心間距離B(m)	対象
						主構の組立高さh(m)	対象
						主桁、主構の通り δ (mm)	対象
						主桁、主構のそり δ (mm)	対象
						主桁、主構の橋端における出入差 δ (mm)	対象
						主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	対象
						現場継手部のすき間 δ 1, δ 2(mm)	対象
3	2	12	3	2	桁製作工(仮組立検査を実施しない場合)	フランジ幅w(m)腹板高h(m)	対象
						板の平面度 δ (mm)	対象
						フランジの直角度 δ (mm)	対象
						部材長l(m)	対象
3	2	12	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	部材の水平度	対象
						堤長L	対象
						堤長l	対象
						堤幅w	対象
						堤幅w	対象
						高さH	対象
						ベースプレートの高さ	対象
						本体の傾き	対象
3	2	12	4		検査路製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	5		鋼製伸縮継手製作工	部材長w(m)	対象
						組合せる伸縮装置との高さの差 δ 1(mm)	対象
						フィンガーの食い違い δ 2(mm)	対象
3	2	12	6		落橋防止装置製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	7		橋梁用防護柵製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	8		アンカーフレーム製作工	上面水平度 δ 1(mm)	対象
						鉛直度 δ 2(mm)	対象
						高さh(mm)	対象
3	2	12	9		プレビーム用桁製作工	フランジ幅w(m)腹板高h(m)	対象
						フランジの直角度 δ (mm)	対象
						部材長l(m)	対象
						主桁のそり δ	対象
3	2	12	10		鋼製排水管製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	11		工場塗装工	塗膜厚	—
3	2	13			架設工(鋼橋)	全長L(m)支間長Ln(m)	対象
						通り δ (mm)	対象
						そり δ (mm)	対象
						主桁、主構の中心間距離B(m)	対象
						主桁の橋端における出入差 δ (mm)	対象
						主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	対象
						現場継手部のすき間 δ 1, δ 2(mm)	対象
3	2	13			架設工(コンクリート橋)	全長・支間	—
						桁の中心間距離	—
						そり	—
3	2	14	2	1	植生工	切土法長l	対象
						盛土法長l	対象
						延長L	—
3	2	14	2	2	植生工(植生基材吹付工)(客土吹付工)	法長l	対象
						厚さt	—
						延長L	—
3	2	14	3		吹付工(コンクリート)(モルタル)	法長l	対象

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
						厚さt	—
						延長L	—
3	2	14	4	1	法枠工(現場打法枠工)(現場吹付法枠工)	法長l	対象
						幅w	—
						高さh	—
						枠中心間隔a	対象
						延長L	—
3	2	14	4	2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長l	対象
						延長L	—
3	2	14	6		アンカー工	削孔深さl	—
						配置誤差D	対象
						せん孔方向 θ	対象
						基準高▽	対象
3	2	15	1		(一般事項)場所打擁壁工	厚さt	対象
						裏込厚さ	対象
						幅w1,w2	対象
						高さh	対象
						延長L	—
3	2	15	2		プレキャスト擁壁工	基準高▽	対象
						延長L	—
3	2	15	3		補強土壁工	基準高▽	対象
						高さh	対象
						鉛直度 Δ	対象
						控え長さ(補強材の設計長)	—
						延長L	—
3	2	15	4		井桁ブロック工	基準高▽	対象
						法長l	対象
						厚さt1,t2,t3	—
						延長L1, L2	—
3	2	16	3	1	浚渫船運転工(ポンプ浚渫船)	基準高▽	対象
						幅	—
						延長	—
3	2	16	3	2	浚渫船運転工(グラブ浚渫船/バックホウ浚渫船)	基準高▽	対象
						幅	—
						延長	—
3	2	16	3	3	浚渫船運転工(バックホウ浚渫船/面管理)	標高較差	対象
3	2	18	2		床版工	基準高▽	対象
						幅w	対象
						厚さt	対象
						鉄筋のかぶり	—
						鉄筋の有効高さ	対象
						鉄筋間隔	対象
6	1	7	4		護岸付属物工	幅w	—
						高さh	対象
6	1	10	8		杭出し水制工	基準高▽	対象
						幅w	対象
						方向	対象
						延長L	—
6	1	13	3		配管工	埋設深t	対象
						延長L	—
6	1	13	4		ハンドホール工	基準高▽	対象
						厚さt1~t5	対象
						幅w1,w2	—
						高さh1,h2	—
6	3	5	6	1	函渠工(本体工)	基準高▽	対象
						厚さt1~t8	対象
						幅w1,w2	—
						内空幅w3	—
						内空高h1	対象
						延長L	—
6	3	5		2	函渠工(ヒューム管/PC管/コルゲートパイプ/ダクタイル铸铁管)	基準高▽	対象
						延長L	—
6	3	5	7		翼壁工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	3	5	8		水叩工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	4	6	7		床版工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	4	6	8		堰柱工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	4	6	9		門柱工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
6	4	6	10		ゲート操作台工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	4	6	11		胸壁工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	6	13		閘門工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	6	14		土砂吐工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	7	8		堰本体工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 堰長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	7	9		水叩工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 堰長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	7	10		土砂吐工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 堰長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	8	3		魚道本体工	基準高▽ 厚さt1,t2 幅w 高さh1,h2 延長L	対象 対象 対象 対象 —
6	5	9	2		管理橋橋台工	基準高▽ 厚さt 天端幅w1(橋軸方向) 天端幅w2(橋軸方向) 敷幅w3(橋軸方向) 厚さh1 胸壁の高さh2 天端長l1 敷長l2 胸壁間距離l 支点長及び中心線の変化	対象 対象 — — — 対象 対象 — — — 対象
6	6	4	6		本体工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh1,h2 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	6	4	7		燃料貯油槽工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	6	5	7		コンクリート床版工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	7	4	6		本体工(床固め本体工)	基準高▽ 天端幅w1,w3 堤幅w2 堤長L1,L2 水通し幅l1,l2	対象 — — — 対象
6	7	4	8		水叩工	基準高▽ 厚さt 幅w 延長L	対象 対象 — —
6	7	5	6		側壁工	基準高▽ 天端幅w1 堤幅w2 長さL	対象 — — —
7	1	5	5		場所打コンクリート工	基準高▽ 幅w 高さh 延長L	対象 — — —
7	1	5	6		海岸コンクリートブロック工	基準高▽ ブロック厚t ブロック縦幅w1 ブロック横幅w2	対象 — — —

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
7	1	6	4		海岸コンクリートブロック工	延長L 基準高▽ 法長l 厚さt 延長L	— 対象 対象 — —
7	1	6	5		コンクリート被覆工	基準高▽ 法長l 厚さt 裏込材厚t' 延長L	対象 対象 対象 — —
7	1	8	2		コンクリート被覆工	基準高▽ 幅w 厚さt 基礎厚t' 延長L	対象 — — — —
7	1	9	3		波返工	基準高▽ 幅w1,w2 高さh1,h2,h3 延長L	対象 — 対象 —
7	2	4	4		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w1 天端延長L1	対象 対象 対象 —
7	2	4	5		吸出し防止工	幅w 延長L	— —
7	2	5	2		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w1 天端延長L1	対象 対象 対象 —
7	2	5	5		海岸コンクリートブロック工	基準高▽ 天端幅w 天端延長L	対象 対象 —
7	2	5	9		石枠工	基準高▽ 厚さt 高さh 延長L	対象 対象 対象 —
7	2	5	10		場所打コンクリート工	基準高▽ 幅w 高さh 延長L	対象 対象 対象 —
7	2	5	11	1	ケーソン工	パラストの基準高▽ 壁厚t1 幅w 高さh1 長さL 底板厚さt2 フーチング高さh2	対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
7	2	5	11	2	ケーソン工(ケーソン工据付)	法線に対する出入1、2 据付目地間隔1'、2'	対象 対象
7	2	5	11	3	ケーソン工(突堤上部工)／場所打コンクリート／海岸コンクリートブロック	基準高▽ 厚さt 幅w 長さL	対象 対象 対象 対象
7	2	5	12	1	セルラー工(セルラー工製作)	壁厚t 幅w 高さh 長さL	対象 対象 対象 対象
7	2	5	12	2	セルラー工(セルラー工据付)	法線に対する出入1、2 隣接ブロックとの間隔1'、2'	対象 対象
7	2	5	12	3	セルラー工(突堤上部工)／場所打コンクリート／海岸コンクリートブロック	基準高▽ 厚さt 幅w 長さL	対象 対象 対象 対象
7	2	6	2		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w 天端延長L	対象 対象 対象 —
7	2	6	3		根固めブロック工	基準高▽ 厚さt 幅w1w2 延長L1,L2	対象 — — —
7	2	7	3		消波ブロック工	基準高▽ 厚さt 幅w1,w2 延長L1,L2	対象 — — —
7	3	3	3		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w1 天端延長L1	対象 対象 対象 —
8	1	3	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部材長(m)	対象
8	1	8	4		コンクリート堰堤本体工	基準高▽ 天端部w1,w3堤幅w2 水通しの幅l1,l2 堤長L1,L2	対象 対象 対象 対象
8	1	8	6		コンクリート側壁工	基準高▽ 幅w1,w2 長さL	対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
8	1	8	8		水叩工	基準高▽ 幅w 厚さt 延長L	対象 対象 対象 -
8	1	9	5	1	鋼製堰堤本体工(不透過型)	水通し部 堤高▽ 水通し部 長さl1,l2 水通し部 幅w1,w3 水通し部 下流側倒れ△ 袖部 袖高▽ 袖部 幅w2 袖部 下流側倒れ△	対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本体工(透過型)	堤長L 堤長l 堤幅w 堤幅w 高さh 高さh	対象 対象 対象 対象 対象 対象
8	1	9	6		鋼製側壁工	堤高▽ 長さL 幅w1,w2 下流側倒れ△ 高さh	対象 対象 対象 対象 対象
8	2	5	8		魚道工	基準高▽ 幅w 高さh1,h2 厚さt1,t2 延長L	対象 対象 対象 対象 -
8	3	6	4		山腹明暗渠工	基準高▽ 厚さt1,t2 幅w 幅w1,w2 高さh1,h2 深さh3 延長L	対象 - 対象 - 対象 - -
8	3	7	4		集排水ボーリング工	削孔深さl 配置誤差D せん孔方向θ	- 対象 対象
8	3	7	5		集水井工	基準高▽ 偏心量D 長さL 巻立て幅w 巻立て厚さt	対象 対象 対象 - 対象
8	3	9	6		合成杭工	基準高▽ 偏心量D	対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(本体)	天端高▽ 天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(水叩)	天端高▽ ジョイント間隔 幅 長さ	対象 対象 対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(副ダム)	天端高▽ ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	対象 対象 対象 対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(導流壁)	天端高▽ ジョイント間隔 リフト高 長さ 厚さ	対象 対象 対象 対象 対象
9	2	4	5		コアの盛立	基準高▽ 外側境界線 基準高▽ 外側境界線 盛立幅 基準高▽ 外側境界線	- 対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	2	4	6		フィルターの盛立	基準高▽ 外側境界線 基準高▽ 外側境界線 盛立幅 基準高▽ 外側境界線	- 対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	2	4	7		ロックの盛立	基準高▽ 外側境界線 基準高▽ 外側境界線 盛立幅 基準高▽ 外側境界線	- 対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	2				フィルダム(洪水吐)	基準高▽ ジョイント間隔	対象 対象

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
						厚さt 幅w リフト高さ 長さL	対象 対象 対象 対象
9	3	3			ボーリング工	深度L 配置誤差	— 対象
10	1	3	2		遮音壁支柱製作工	部材長(m)	対象
10	1	9	6		場所打函渠工	基準高▽ 厚さt1~t4 幅(内法)w 高さh 延長L	対象 対象 対象 対象 —
10	1	11	4		落石防止網工	幅w 延長L	— —
10	1	11	5		落石防護柵工	高さh 延長L	対象 —
10	1	11	6		防雪柵工	高さh 延長L 基礎 幅w1,w2 基礎 高さh	対象 — 対象 対象
10	1	11	7		雪崩予防柵工	高さh 延長L 基礎 幅w1,w2 基礎 高さh アンカー長l(打込み) アンカー長l(埋込み)	対象 — — — — —
10	1	12	4		遮音壁基礎工	幅w 高さh 延長L	対象 対象 —
10	1	12	5		遮音壁本体工	支柱 間隔w1,w2 支柱 ずれa 支柱 ねじれb-c 支柱 倒れD 高さh 延長L	対象 対象 対象 対象 対象 —
10	2	4			歩道路盤工取合舗装路盤工路肩舗装路盤工	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
10	2	4			歩道舗装工取合舗装工路肩舗装工表層工	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
10	2	5	9		排水性舗装用路肩排水工	基準高▽ 延長L	対象 —
10	2	7	4		踏掛版工(コンクリート工/ラバーシュー/アンカーボルト)	基準高▽ 各部の厚さ 各部の長さ 各部の長さ 厚さ 中心のずれ アンカー長	対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
10	2	9	4	1	大型標識工(標識基礎工)	幅w1, w2 高さh	対象 対象
10	2	9	4	2	大型標識工(標識柱工)	設置高さh	—
10	2	12	5	1	ケーブル配管工	埋設深t 延長L	対象 —
10	2	12	5	2	ケーブル配管工(ハンドホール)	基準高▽ 厚さt1~t5 幅w1, w2 高さh1, h2	対象 — 対象 対象
10	2	12	6		照明工(照明柱基礎工)	幅w 高さh	— —
10	3	3	3		鋼製橋脚製作工	脚柱とベースプレートの鉛直度 δ (mm) ベースプレート孔の位置 ベースプレート孔の径D 柱の中心間隔対角長L(m) はりのキャンパー及び柱の曲がり δ (mm) 柱の鉛直度 δ (mm)	対象 対象 対象 対象 対象 対象
10	3	6	8		橋台躯体工	基準高▽ 厚さt 天端幅w1(橋軸方向) 天端幅w2(橋軸方向) 敷幅w3(橋軸方向) 高さh1 胸壁の高さh2 天端長l1 敷長l2 胸壁間距離l 支間長及び中心線の変位 支承部アンカー計画高 支承部アンカー平面位置 アンカーボルト孔の鉛直度	対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
10	3	7	9	1	橋脚躯体工(張出式/重力式/半重力式)	基準高▽ 厚さt 天端幅w1(橋軸方向) 敷幅w2(橋軸方向) 高さh1 天端長l1	対象 対象 対象 対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
						敷長l2 橋脚中心間距離l 支間長及び中心線の変位 支承部アンカー計画高 支承部アンカー平面位置 アンカーボルト孔の鉛直度	対象 対象 対象 対象 対象 対象
10	3	7	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	基準高▽ 厚さt 天端幅w1 敷幅w2 高さh 長さl2 橋脚中心間距離l 支間長及び中心線の変位 支承部アンカー計画高 支承部アンカー平面位置 アンカーボルト孔の鉛直度	対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
10	3	8	9	1	橋脚フーチング工(I型/T型)	基準高▽ 幅w(橋軸方向) 高さh 長さl	対象 対象 対象 対象
10	3	8	9	2	橋脚フーチング工(門型)	基準高▽ 幅w1,w2 高さh 長さl	対象 対象 対象 対象
10	3	8	10	1	橋脚架設工(I型/T型)	基準高▽ 橋脚中心間距離l 支間長及び中心線の変位	対象 対象 対象
10	3	8	10	2	橋脚架設工(門型)	基準高▽ 橋脚中心間距離l 支間長及び中心線の変位	対象 対象 対象
10	3	8	11		現場継手工	現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2(\text{mm})$	対象
10	4	3	9		橋梁用高欄製作工	部材長(m)	対象
10	4	5	10	1	支承工(鋼製支承)	据付け高さ 可動支承の移動可能量 支承中心間隔(橋軸直角方向) 水平度 可動支承の橋軸方向のずれ同一支承線上の相対誤差	対象 — 対象 対象 対象
10	4	5	10	2	支承工(ゴム支承)	据付け高さ 可動支承の移動可能量 支承中心間隔(橋軸直角方向) 水平度 可動支承の橋軸方向のずれ同一支承線上の相対誤差	対象 — 対象 対象 対象
10	4	8	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔長 アンカーボルト定着長	— —
10	4	8	5		地覆工	地覆の幅w1 地覆の高さh 有効幅員w2	対象 対象 対象
10	4	8	6		橋梁用防護柵工	天端幅w1 地覆の幅w2 高さh1 高さh2 有効幅員w3	対象 対象 対象 対象 対象
10	4	8	7		橋梁用高欄工	天端幅w1 地覆の幅w2 高さh1 高さh2 有効幅員w3	対象 対象 対象 対象 対象
10	4	8	8		検査路工	幅 高さ	対象 対象
10	5	6	2		プレビーム桁製作工(現場)	幅w 高さh 桁長(スパン)長 軸方向最大タワミ	対象 対象 対象 対象
10	6	4	3		吹付工	吹付け厚さ	—
10	6	4	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	— — — — 対象
10	6	5	3		覆工コンクリート工	基準高▽(拱頂) 幅w(全幅) 高さh(内法) 厚さt 延長L	対象 対象 対象 — —
10	6	5	5		床版コンクリート工	幅w 厚さt	— —
10	6	6	4		インバート本体工	幅w(全幅) 厚さt 延長L	対象 — —
10	6	8	4		坑門本体工	基準高▽ 幅w1, w2 高さh 延長L	対象 — — —
10	6	8	5		明り巻工	基準高▽(拱頂) 幅w(全幅)	対象 対象

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	評価対象
						高さh(内法)	対象
						厚さt	対象
						延長L	—
10	11	6	2		現場打躯体工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						内空幅w	対象
						内空高h	対象
						ブロック長L	対象
10	11	6	4		カラー継手工	厚さt	—
						幅w	—
						長さL	—
10	11	6	5	1	防水工(防水)	幅w	—
10	11	6	5	2	防水工(防水保護工)	厚さt	—
10	11	6	5	3	防水工(防水壁)	高さh	—
						幅w	対象
						厚さt	対象
10	11	7	2		プレキャスト躯体工	基準高▽	対象
						延長L	—
10	12	5	2		管路工(管路部)	埋設深t	対象
						延長L	—
10	12	5	3		プレキャストボックス工(特殊部)	基準高▽	対象
10	12	6	2		ハンドホール工	基準高▽	対象
						厚さt1~t5	—
						幅w1,w2	対象
						高さh1,h2	対象
10	14	4	5	1	切削オーバーレイ工	厚さt(切削)	対象
						厚さt(オーバーレイ)	対象
						幅w	—
						延長L	—
						平坦性	—
10	14	4	5	2	切削オーバーレイ工(面管理)	厚さt(標高較差)(切削)	対象
						厚さt(オーバーレイ)	対象
						幅w	—
						延長L	—
						平坦性	—
10	14	4	7		路上再生工	路盤工 厚さt	対象
						路盤工 幅w	—
						路盤工 延長L	—
10	16	3	4		桁補強材製作工	フランジ幅w(m)、腹板高h(m)、腹板間隔b'(m)	対象
						フランジの直角度δ(mm)	対象
						圧縮材の曲がりδ(mm)	対象
10	16	22			橋梁耐震補強工(落橋防止装置工)	削孔長	—
						定着長	—
3	2	3			小段排水工	厚さt	—
						幅w1w2	—
3	2	3			縦排水工	厚さt	—
						幅w1w2	—
3	2	3			張コンクリート工	厚さt	—